

一九三三年
(昭和八年)

(花山天文臺)
月

I—太陽と月 (天空の明暗)

日付	太陽		月		
	日出 (星座)	日没	月齢	月出 (星座)	月没
日	時分	時分	日	時分	時分
1	5 29 (しゝ)	6 24	10.4	16 53 (いて)	2 5
6	5 33 〃	6 17	15.4	19 21 (うを)	7 47
11	5 36 〃	6 10	20.4	22 19 (うし)	12 51
16	5 40 〃	6 3	25.4	2 9 (かに)	16 22
21	5 44 (をとめ)	5 56	0.8	7 27 (をとめ)	18 40
26	5 47 〃	5 49	5.8	13 13 (へびつかひ)	22 43
(翌)1	5 51 〃	5 41	10.8	16 29 (みづかめ)	3.23

月の相

- 満月 4日14時4分
- 下弦 12日6時30分
- 新月 20日3時21分
- 上弦 27日0時36分

II—天象

- 日時分
- 2, 10 53 土星(北39')と月との合。土星は來月中旬迄逆行を續ける。光度は大體0等7で視直徑8'。
 - 4, 14 4 満月。來月の4日が月見である。
 - 7, 15 — 水星(北1°2')と海王星の合。海王星の光度7等8。水星はこの月に觀望に不適。太陽に前後して、レグルスの近くより月末にスピカの東迄順行。月初めは昏、月末は曉。12日合。光度は負1等4より負0等3迄。
 - 8, 4 31 天王星(南5°33')と月の合。天王星の光度6等1。魚座0星附近を逆行中。
 - 8, 15 — 金星が降交點
 - 12, 9 — 水星外合
 - 19, 0 12 海王星(北2°10')と月の合
 - 16, 16 — 水星(南3')と木星の合
 - 20, 16 52 木星(北4°30')と月の合
 - 20, 20 7 水星(北4°29')と月の合
 - 23, 7 4 金星(北4°18')と月の合。金星は昏の明星である。光度は約負3等半。太陽より約2時間遅れて入る。月初め乙女γ星の南にあるが黃道にそつて順行し8日スピカの北を通り月末に天秤座α星の東に迄行く。
 - 23, 21 1 秋分。
 - 24, 0 16 火星(北4°36')と月との合。火星といひ木星といひ今月は觀望に不適。火星は乙女座から天秤座に入る。
 - 27, 15 — 木星は合、乙女座ηの近く。
 - 29, 8 — 水星が降交點。
 - 29, 15 11 土星(北42')と月の合。

九月の夜の天空

(恒星時 Sidereal Time 14時)

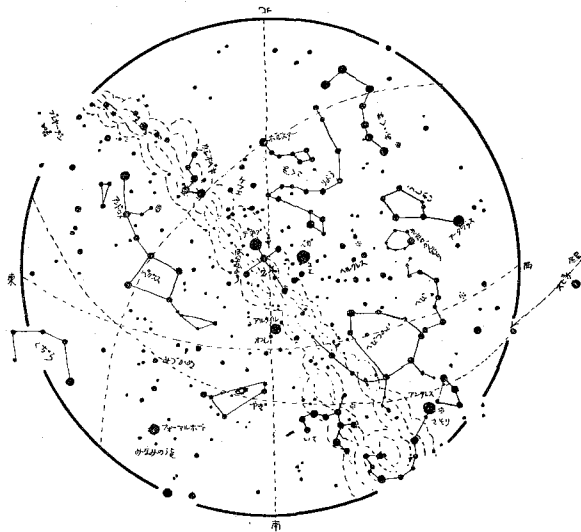
日本の中央部(京阪神地方)で

9月1日ならば午後9時

15日ならば午後8時

東京は約15分早く、福岡は約20分遅く現はる

但し時刻は日本中央標準時



III—九月の天空

濱邊に出てみると波の音ばかりが淋しい。日の暮れるのも次第に早くなるから、日没と共に庭に出て空を見上げるならば、幾日たつても七夕の星が天頂にあり、銀河が南北に流れてゐるので驚かされる。

しかしながら淡い秋の星々を見上げて、華々しかつた夏の舞臺のめぐつたあとのわびしさを感じずのもこの頃である。星の運行ほど吾々の心の底まで、時の流れを刻みつけるものはない。

南の空には山羊座にある土星が目立つてゐる。さらに低く見えるのは南魚座の首星フォーマルホート。

もやさへなかつたならば、W形につらなつたカシオペアもよく見えよう。カシオペア座の南に三等星よりなるベカソスの四邊形があり、之に連らなつて有名な過状星霧のあるアンドロメダ星座がある。